

【サブリモコン工事説明書】

1. リモコン工事注意事項

- リモコンコードは別売品です。下記より選定してください。
 - ・BERCT-10M2 (コード長さ 10m) ・BERCT-15M2 (コード長さ 15m) ・BERCT-25M2 (コード長さ 25m)
 - (両端に接続用の端子が取り付けられています。)
- リモコンコードを現地調達される場合は、長岡特殊電線製シールド付2芯ケーブル (MVVS、0.3mm²×2芯、12/0.18mm) と同等品を使用してください。他のコードを使用した場合、ノイズによる通信不良が発生する原因になります。
- リモコンの取付工事は専門の技術が必要です。販売店または工事店が行ってください。
- リモコンコードの接続は200V電源通電前に行ってください。
- リモコンコードの長さは3項の制約範囲で取り付けてください。
- リモコンコードは、電源ケーブル、電源のアース線および他機種のリモコンケーブルから離して配線してください。ノイズによる誤作動およびリモコンのスピーカーからノイズ音が発生する原因になります。
- サブリモコンは凹凸のあるところには取り付けないでください。
- リモコンコードが渡り配線の場合は、シールド線同士を接続してください。

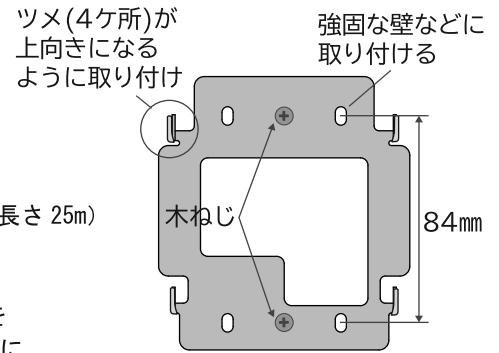


図1 リモコン取付板

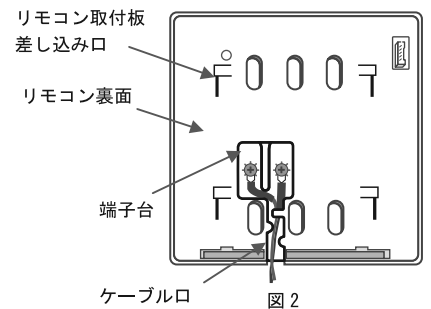


図2

2. サブリモコンの取り付け

(1) 取り付け場所の選定

- サブリモコンはボタン操作が容易に行え、表示が目の高さよりやや低い位置になるように取り付けてください。
- サブリモコンは防水タイプではありません。湿気の多いところ、蒸気や水しぶきのかかるところは避けてください。また、調理器のそばや直射日光の当たるところには取り付けないでください。
- サブリモコンの取り付け面が金属の場合、リモコンコードのY型端子が金属面と接触しないように注意してください。

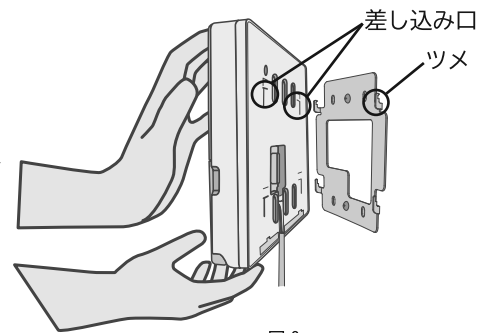


図3

(2) 壁面に取り付ける場合 (コード露出配線)

- ①リモコン取付板を木ねじ (φ3.5×25) 2本で壁に取り付けてください。(リモコン取付板はツメが上向きになるように取り付けてください。)(図1)
- ②リモコンコードを端子台に接続し、ケーブル口より引き出してください。(図2)
- ③リモコンケース裏面の差し込み口に、リモコン取付板のツメを引っ掛け、(図3) リモコンを下方にスライドさせ、リモコン取付板にリモコンを固定してください。(図4)
- ④リモコンコードを壁に固定して貯湯ユニットまで配線してください。

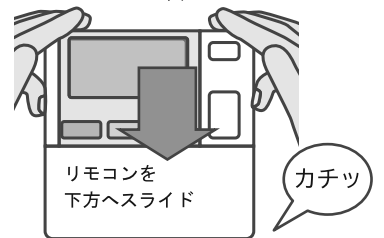


図4

(3) リモコンコードを壁中に通す場合 (コード埋込配線)

- ①リモコン取付位置に埋込用スイッチボックス (JIS 1個用) を取り付けてください。
- ②リモコンコードを電線管に通し、貯湯ユニットまで配線してください。(図5)
- ③リモコン取付板をスイッチボックスの取付ねじ穴に合わせ、Mねじ (現地準備品) で固定してください。(図6)
- (リモコン取付板はツメが上向きになるように取り付けてください。)
- ④リモコンコードを端子台に接続してください。
- ⑤リモコンケース裏面の差し込み口に、リモコン取付板のツメを引っ掛け、(図3) リモコンを下方にスライドさせ、リモコン取付板にリモコンを固定してください。(図4)

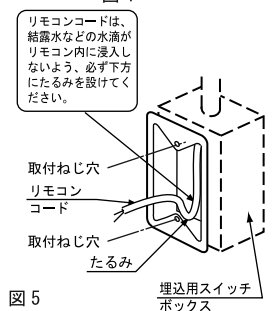


図5

3. 貯湯ユニットとの接続

リモコンは無極性です。配線長の制約範囲で取り付け、接続してください。(サブリモコンと台所リモコンを貯湯ユニットに接続する際は、必要に応じて付属の接続端子を使用してください。)

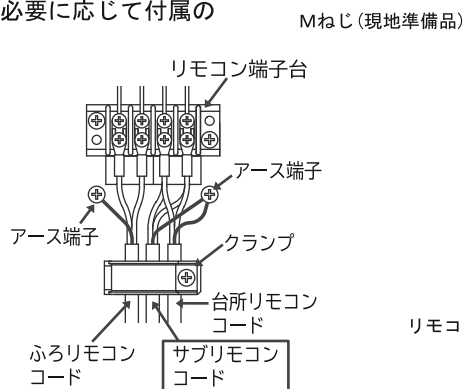
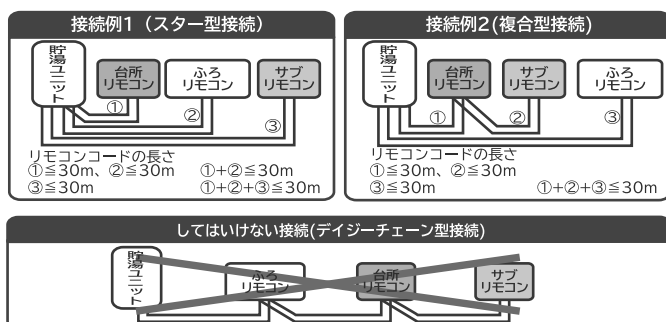


図6